コルザ

コルザはフランス語で「菜の花」

2017
10月号
No. 387

生活クラブ 虹の街

目次

特集
リフレッシュツアー　2・3
ミニ特集
つくった人に会ってみよう♪秋　4
デポーおおたかの森　5
活動ファイル　6・7
託児ケア者と主催者との交流会
子どもたちに平和な未来を 2017
ゲノム編集学習会
食卓の向こうに見えるもの
ブロック活動ファイル　8・9
〇いろどり〇縁日
ワークショップまつり
親子でバスボムづくり
みつわ台アニバーサリーフェスタ
せっけんを知ろう！作ろう！
夏休み 竹林で流しそうめん
千葉グループ　お知らせ　10・13
生活クラブ風の村　NPO クラブ
VAIC-CCI　アーシアン
はぐくみの杜を支える会　JFSA
イベント・情報　14
夢風ニュース / 申込書　15
10 月のデポー　16

リフレッシュツアー in ちば 2017

デポーおおたかの森

10 月 20 日（金）オープン！

組合員の皆さんに 8 月理事会の報告をします。

1．遺伝子組み換え連続講座を開催します。第 1 弾は 11 月 10 日（金）「健康への影響があるってホント?」。第 2 弾は 12 月8日（金）「世界で一番日本人が食べているってホント?」です。

2．流山市おおたかの森の小規模保育園開園にあたり、虹の街の保育園の理念･方針、保育園施設の特徴、保護者･地域との関わり、保育園事業の人事・賃金制度、実行スケジュールを承認しました。

3．NPO ちばこどもおうえんだんの「こども・若者未来基金」の取り組み趣旨に賛同し、11 月に集中して 3 生協が同時期に行う寄付募集キャンペーンに取り組みます。

4．昭和興業株式会社と 11 月 1 日より業務提携を開始します。生活クラブのオリジナル葬儀メニューが利用できます。

7 月の組織報告　総供給高　695,948,794 円
総組合員数　40,581 人（班 5,267 人　個別 20,111 人　デポー 10,565 人　経済共済 4,638 人）

発行 / 生活クラブ虹の街　発行責任者 / 木村庸子　編集 / 組織部
〒 261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12　tel 043-278-7671　fax 043-279-7490　http://chiba.seikatsuclub.coop/
虹の街 Facebook はこちらから→
★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。

本部　043・278・7671/ センター柏　04・7134・3801/ センター千葉　043・278・7629/ センター佐倉　043・461・7868
センター松戸　047・385・4646/ センター市原　0436・60・1583/ センターベイ　047・379・1540/ デポー真砂　043・278・0112
デポーみつわ台　043・287・2414/ デポー新松戸　047・348・1210/ デポー大津ヶ丘　04・7191・7359/ デポー松葉町　04・7134・0697
デポー浦安　047・353・0135/ デポー木刈　0476・40・6811/ デポー園生　043・290・0090/

特　集

リフレッシュツアー in ちば 2017

2012 年より、全国の生活クラブで東日本大震災の被災地への支援と交流を目的に、リフレッシュ企画が開催されています。生活クラブ虹の街は今年（８月１～４日）６回目のリフレッシュツアーを開催。生活クラブふくしまと栃木から３家族７人（子ども３人）が千葉県を訪れました。直前にお子さんの具合が悪くなった１家族４人（子ども２人）が、残念ながら参加を取りやめました。

虹の街では、実行委員会で準備をすすめ、本部では理事を中心にウェルカムパーティで、センター市原では市原ブロック運営委員会メンバーが、どちらも子どもと一緒に参加して交流しました。

震災から６年を経過しても進展がみられない放射能問題など、組合員同士の交流を通して継続的な支援が今後も必要だと改めて認識しました。

スケジュール

１日目　東京駅着、昼食、海浜幕張駅着、甲状腺検診（希望者、まくはり診療所）、稲毛海浜公園、夕食ウェルカムパーティ（虹の街本部 地域交流スペース渚）、ホテル泊

２日目　朝食：ホテル、交流会（センター市原）、海ほたる、竜宮城プール＆スパ、ホテル泊

３日目　朝食（ホテル）、東京ディズニーランド、ホテル泊

４日目　朝食（同上）、新生酪農（株）（長生郡睦沢町）見学＆昼食、上総一ノ宮駅→東京駅経由新幹線で帰路へ

はじめましてのウェルカムパーティ。消費材クイズで盛り上がりました。賞品はもちろん消費材。勇ましい目隠しをしたすいか割りは、見ているほうもおもしろい。

特　集

… お話しのなかから …

・千葉のリフレッシュツアーに参加したのは、ディズニーランド（入場料等は自費）があったから！
・放射能のことは自分たちは心配していますが、周りの人たちはそれほど気にしていないようなので、あまり話ができない状況です。
・通学路に除染した土が置いたままになっています。
・高校生くらいの子がバイトで除染作業をしているのが気になります。
・小さい子を外で遊ばせるのが不安で、家のなかの遊びが多くなってしまいます。
・短い期間でも福島を離れて保養ができることに感謝しています。
・センター（市原）で交流会をしたので、壁の掲示物をきっかけに、組合員活動などについていろいろ話すことができてよかったです。

センター市原では、太陽光発電「そらみん」を見たり、組合員活動について話したり、福島の現状について話しを聞いたり。
親どうし、子どもどうしに別れて親睦を深めました。

←綿あめじょうずにできたかな？

2~3 ページは、HP でカラーでご覧になれます。

東京湾アクアライン海ほたる

竜宮城プール＆スパ入口

新生酪農では、動画（学校給食の牛乳ができるまで）を見て工場見学。ノンホモ牛乳を使った「サンモッツァ」の実演と試食、新規品のりんごのアイスクリームの試食をしました。

リフレッシュツアーのカンパ報告

6 月に募集した
カンパは、**1,101,500** 円（2,203 口、1,116 人）でした。

ご協力　ありがとうございました。

2015 年度に実施したカンパの繰り越しを含め合計 1,203,714 円。今回のリフレッシュツアーの費用（交通費・交流会食費等）229,938 円は、カンパ金で賄われました。残金 973,776 円は、次年度以降のリフレッシュツアーの費用として繰り越します。

ミニ特集

2017 秋 つくったひとに会ってみよう♪　おいしい発見 !! ワークショップ

生産者との交流を通して、まだ生活クラブに加入していない方に楽しく生活クラブを知ってもらう体験・参加型のワークショップ。

2017 年春は、 8 回開催、47 人の仲間が増えました。秋もワークショップを開催しています。**お友だちを誘って、ぜひご参加ください！**

組合員対象の通常の生産者交流会とは異なる、組合員外を対象にした「つくったひとに会ってみよう♪おいしい発見 !! ワークショップ」。

食べる仲間を増やすことを目的に、体験・参加型の食イベントを行い、楽しみながら消費材の良さを知ってもらうことをコンセプトに、ブロックごとに生産者の皆さんと相談して企画しました。市販品との食べ比べやワークショップ・消費材を使ったランチなど、生活クラブの「おいしさ」を多くの方にアピールします。

秋のワークショップ。皆さんもお気に入りの企画に、お友だちを誘ってぜひ参加してください！

お友だちが加入すると、お友だちとあなたに素敵な、おいしい、うれしいプレゼント＊を用意しています。

「なるほど！」な講座と、おいしいランチでお友だちと楽しいひと時を過ごしませんか？

＊ブロックによって、プレゼントの内容が若干異なります。

つくった人（生産者）	つくっているもの	開催日	会　場	ブロック
コーミ（株）	トマトケチャップ	9/14	茂原市総合市民センター	市原
タイヘイ（株）	丸大豆醤油	10/23	本八幡京葉ガスショールーム	ベイ
（株）ミサワ食品	ふがし	10/24	モリシアホール	千葉
（株）丸きんまんじゅう	ロールケーキ	11/8	公津の杜コミュニティセンター	佐倉
（株）秋川牧園	鶏　肉	11/22	森のホール 21	松戸
美勢商事（株）	餃　子	11/29	デポーおおたかの森　こだち	柏

＊秋の企画の詳細は、HP・ブロック発行のちらしをご覧ください。

市原ブロック

子どもの未来を守るケチャップの話

9 月 14 日、茂原市総合市民センターで、コーミ（株）の相馬英輔さんを迎えて開催しました。参加者は、組合員 7 人、一般の方 7 人（加入 3 人）。

相馬さんからトマトケチャプの市販品との原料の違い・製造工程などの説明がありました。市販品との食べ比べをしてその意味がよくわかりました。

昼食は、ビオサポマイスターによるトマトケチャプを使った鶏肉料理が並び、おいしさを味わいながら生産者とも交流ができました。

直前まで参加者が少ない状況でしたが、組合員のくちこみ力がバックアップしてくれました。

参加者の声

- 6月の茂原でのビオサポマイスター企画に参加し、今回のトマトケチャップの説明を聞き、加入することにしました。
- 生産者（相馬さん）のじょうずな説明で、市販品との違い、国産トマトの貴重さ大切さがよくわかりました。
- 組合員が食べ支えないと継続しての生産ができないという話しに共感し、今後は購入し食べ続けようと思いました。

ミニ特集

デポーおおたかの森　10 月 20 日 OPEN!

デポ活♪
おおたかの森

柏ブロック FB
は、こちらから

地域交流スペース名称決定！

７月、流山エリア組合員を対象にデポーおおたかの森地域交流スペースの名前を決める総選挙をしました。建設委員会メンバーで候補をあげ、「こだち」144 票、「なごみ」66 票、「tumugu」39 票という圧倒的多数で「こだち」に決定。

おおたかの森の木々の間から射し込む光をイメージした「こだち」。１本１本の木は組合員だったり、地域の人、職員さん、保育園へ通う子どもたちだったり。射し込む光がやさしく皆を照らし、皆で育くむ地域交流スペースにしていきたいという思いもあります。子育てを応援する地域、０～２歳児までの小規模保育園も併設されるので子どもが育つ＝子が立つ、こだちという想いも込めています。

拠点の名称決定！

「生活クラブの森」に決まりました。ありきたりかなと思いますが地域の拠点となり、街に溶け込みたくさんの方に覚えてもらえるよう、みんなの手で育てていきたいと思います。

オープン直前のお願い

まだまだ組合員のくちこみ力が必要です。デポ活企画、「おすすめ消費材 de ランチ」では、デポーおおたかの森の新規加入者さんがお友だちを連れてきて加入に繋がったり、「皆でコロコロ味噌玉作り」では、ちらしを見たお友だちが組合員を誘って参加するという珍しいパターンもありました！

生活クラブの輪をデポーおおたかの森で広げましょう。

デポーおおたかの森建設委員長　東條絵美

たくさんの生産者を招いてオープンを祝います！

オープンまつり第１弾

10 月 20 日（金）

10：00 ～ 10：30　オープン式典

10：30 ～ 15：00　生産者の実演と販売

・（株）ニューオークボ　絶品パスタのミニレストラン
・日東珈琲（株）　おいしい淹れ方講座
・スワンベーカリー柏店　焼きたてパン
・（株）平田牧場　平牧三元豚。圧巻の豚肉解体！
・東薫酒造（株）　鏡びらきと試飲

10 月 21 日（土）　10：30 ～ 15：00 生産者の実演と販売

・新生水産（株）　生マグロの解体
・コーミ（株）　トマトケチャップなどの試食
・東京カリント（株）　かりんとうの試食
・（株）AIC（アグリイノベーションズカンパニー）鶏卵と野菜のアピール

10 月 22 日（日）　10：30 ～ 15：00 生産者の実演と販売

・JA 庄内みどり　餅つきとつきたてお餅の試食。米のアピール
・（株）秋川牧園　丹精國鶏の丸どり解体。焼き鳥
・和高スパイス（株）　本物のスパイスの香を試食！
・元気クラブ（立野園芸出荷組合）　朝採り・新鮮野菜

オープンまつり第２弾

10 月 27 日（金）・28 日（土）10：30 ～ 15：00

ハロウィーン直前、仮装してきてくれたお子さまには
何かいいことがあるかも！

オープンまつり第３弾

11 月 3 日（金）・4 日（土）10：30 ～ 15：00

たくさんの生産者を招いて！

＊９月 12 日現在の情報です。詳しくはＨＰをご覧ください。→

活動ファイル

託児ケア者と主催者との交流会

虹の街は、子育て中の組合員の活動参加を支援することを目的に、集団託児ケアを 2009 年度から認定 NPO 法人 VAIC コミュニティケア研究所（VAIC-CCI）に業務委託し「託児ケアシステム風船」として実施し、組合員の企画や会議で託児が必要な時に託児ケア者（ケア者）を派遣してもらい、子どもを預けています。その「風船」は、組合員が毎月 100 円拠出しているエッコロ制度で支えられています。

「風船」は、「子どもを安全に預かる」ことを最優先とし、都度場所の異なる条件での安全性の担保、安定的な運営などを主眼に、利用者・主催者・ケア者からの意見や疑問などを、VAIC-CCI と虹の街の 2 者協議会で定期的に共有し、より良い運営に繋げています。

子育て世代の活動参加やコミュニティの自主的な活動が活発になってきたことで、利用者は毎年増えています。

企画の主催者とケア者が交流し、互いに理解するため、交流会を 5 月 15 日～ 6 月 21 日に各ブロックで開催。虹の街の福祉委員をはじめとする理事・運営委員・コミュニティの代表・組織運営スタッフ、VAIC-CCI からは、ケア者と託児コーディネーターが参加。ケア者の登録の更新とケア者を考慮中の人も参加できる場としました。

6 会場での参加総数は、153 人。20 人が新規登録し、ケア者は、現在 104 人となりました。慢性的にケア者が不足していた地域の解決に繋がりましたが、今後も活動が盛んな地域を中心にケア者を募っていきます。

開催日	ブロック	虹の街参加者	託児ケア者	登録希望者
5/15	市原	4	6	8
5/31	松戸	4	10	4
6/5	千葉	8	13	8
6/9	柏	13	10	3
6/12	佐倉	12	20	2
6/21	ベイ	9	7	1
合　計		50	66	26

＊ VAIC-CCI 事務局は各会場に 1 ～ 2 人参加（計 11 人）

参加者からは、「交流できたことはよい機会となった」「組合員からの感謝の気持ちをケア者に伝えることができた」「新規登録者も増やすことができた」「託児ケアマニュアルはすでに渡されてはいるが、注意点を確認しながら読み合わせることで、改めてルールを確認する機会となった」など。

お互いに理解が深まり、よりよい関係性が生まれました。これからも組合員が安心して子どもを預け、活動に参加できる「託児ケアシステム風船」をみんなでつくっていきましょう。

福祉委員　田端知江

子どもたちに平和な未来を 2017

8 月 21 日、コープみらい千葉県本部コーププラザ千葉で、生活クラブも加盟する千葉県生活協同組合連合会の主催による「子どもたちに平和な未来を 2017」が開催され、子ども 14 人、大人 38 人が参加しました。

今年は例年のような講演会の形式ではなく、対象を小学生から高校生とし、子どもたちが参加して、平和の大切さを学ぶ場としました。「次世代への継承」をテーマに、戦争体験者の話しやグループでの交流をとおして、子どもたち自身が感じ、次に繋がることや行動してみたいことを見つけられるよう、子どもたちが主役になれる場づくりをしました。

はじめに、ちば・戦争体験を伝える会の渡辺紘子さんから、千葉市の空襲の体験からつくられた『ちゃあちゃん ぽんぽん いたいよ』の紙芝居とお話し。「空襲で海岸に逃げ、機銃掃射で弟と妹が亡くなりました。世界中の誰にもこんなに悲しく、つらい思いはさせたくない」とまとめの言葉がありました。

続いて、千葉県原爆被爆者友愛会の小谷孝子さんは、6 歳の時に爆心地から 2.5km の広島の自宅で被爆した体験を腹話術で。「（腹話術人形の）あっちゃんが、私が体験したことの聞き役になって、あっちゃんと共に被爆体験を話しています。恨みを伝えるのではなく、平和の尊さを伝えていきたい」と穏やかに話しました。

お二人の話しのあと、千葉大学生協の学生がグループリーダーとなり、紙芝居と腹話術の話しを聞いた感想やわからなかった言葉などを出し合いました。

交流会では、「戦争を早い時にやめておけばよかった」「戦争はこわい。自分なら逃げたい」「原子力もこわい。危ないことに使わないで欲しい」「家族と一緒にご飯が食べられることや、明日のことが話せることに幸せを感じる」などの意見発表がありました。

子どもたちが参加するという初の企画でしたが、実際に戦争の体験談を聞くことで平和の大切さを学ぶことができ、夏休みの宿題にも一役買うことができたようです。　組織部　山崎倫一

ゲノム編集学習会

8 月 21 日、生活クラブ連合会主催の「第 1 回ゲノム編集学習会」が開催されました。今回は、「ゲノム編集による作物と家畜育種と倫理社会的課題」というタイトルで北海道大学教授の石井哲也さんが講演。

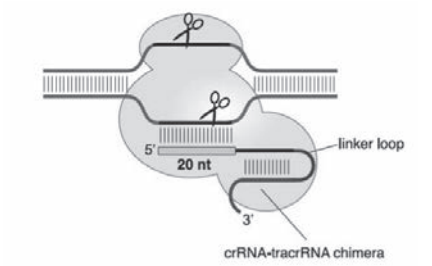
「昔から行われている技術の育種は、生物のもつ遺伝的形質を利用して改良し有益な品種を育成する技術です。作

活動ファイル

物・家畜の育種は３千年にわたる歴史があり、そこが食の安全・安心の基盤とみられています。

一方、遺伝子組み換え（GM）技術は、1994 年に世界で初めてＧＭ作物が承認され、現在世界の 1/7 の国々で商業栽培されています。日本や韓国では安全性の点で消費者が反対し商業栽培されていません。環境面でも外来ＧＭ作物の交雑等、生物多様性に影響を及ぼす可能性があります。現在、食用のＧＭ動物で承認されたのはサケだけで、動物は人間に近いので強い抵抗感があるからです。細胞外でつくった遺伝子を、狙った場所に組み込むことも技術的に困難で、ＧＭ技術には多くの課題があります」と石井さん。

では、ゲノム編集はどうなのでしょうか。



「細胞の外で操作していた遺伝子組み換えとは違い、遺伝子改変と言って、細胞の中で人工のＤＮＡ切断酵素を仕込み、カスタマイズして思い通りの結果を導き出すもので、狙い通りに細胞は改変され再生されます。そして、ゲノム編集作物や家畜は伝統的な育種法による生物と同様に見えるといわれ、作物・家畜の育種に使われる方向にあります。では、このゲノム編集技術が日本で受容されるかですが、作物や家畜に関しては消費者のゼロリスク志向から踏みとどまるのではないかと見られていますが、人間（医療分野）に関しては血縁志向が強いので受け入れられてしまうことが懸念されます」。

ゲノム編集は遺伝子組み換えと違い外来遺伝子が入っていないから安全という見方を日本やアメリカではしているようですがこれでよいのでしょうか。狙い通りの場所が切断される確率はどれだけなのか。リスク評価も定まっていません。規制も確立していません。生物多様性の保全や人の健康に対する危険も考慮しているカルタヘナ議定書の目的をここでもよく考えるべきです。何か起こった時にＧＭ食品はＰＣＲ検査*でわかりますが、ゲノム編集は遺伝子の配列まで遡らないとわからず、トレースが難しいのです。規制もないことで拡がりつつあるゲノム編集技術。

安全でないものは食べたくありません。食べ物を安心して食べられるようトレーサビリティと表示について私たちが声を上げていくことが求められています。　　消費委員長　福住洋美

＊PCR 検査：目的の遺伝子が存在するかを、短時間で増幅させてその存在の有無を調べること。

食卓の向こうに見えるもの

8 月 28 日、千葉市美浜文化ホールで消費委員会主催の講演会を開催しました。テーマは「食卓の向こうに見えるもの～あなたの食べもの選びが地球を救う！～」。70 人が参加しました。

講師の榊田みどりさんは、農業ジャーナリスト・ＮＰＯ法人コミュニテイスクールまちデザインの理事として、幅広く活躍。今回は「食べる」という私たちの行為が農業や経済・環境問題にどのような影響を及ぼすのか、わかりやすく説明してくれました。

「近年、日本の食生活は大きく変化してきました。米食の減少、外食・中食の増加、肉中心の食生活…。利便性が優先されている現在の食生活は、米価の下落や耕作放棄、輸入食材の増加、食料自給率の低下を引き起こしています」と榊田さん。

「日本は、農地面積・農業者・農業所得とも年々減少しているジリ貧の状態のなか、2013 年に農業の成長産業化政策が打ち出されました。少ない担い手で農地を集積しコスト削減をめざすという成長戦略で、施策から４年がたちましたが、進捗は予定より遅れ、数値目標の達成は厳しい状態です」。

生産現場である農村の暮らしを守るどころか農地集積のため、遊休地を増税することでかえって農地を非農地化させてしまったのです。

「消費者（都市）と生産者（産地）、地縁・知縁という互いの顔が見える良い関係を築きながら、環境や地域に根ざした農業のあり方を考えようという動きが、日本だけでなく欧米でも生まれています。都市・農村の互いが幸せに暮らせる持続可能な食と農の形を考える、生産する消費者をめざしましょう！」と榊田さん。

参加者からは、「もっと詳しい話を聞きたい」「また講演会を設けてほしい」という声があがりました。

その後、虹の街で取り組んでいる活動を紹介。「おもしろ野菜クラブ」は、組合員と家族が産地を訪れ、農業体験をしながら生産者と交流し、親子で楽しく食の大切さを考える貴重な機会になっています。また、「ビジョンフード」を始めとする生活クラブの消費材をおおぜいで食べて生産を支えることが、食料自給率の向上や食の安全、生態系の保護に繋がります。

私たち一人ひとりの選択が日本や世界の食糧問題に繋がっていることを改めて実感しました。次世代の子どもたちに安心・安全な食生活を引き継ぐために、毎日の食べ物をきちんと選びたいと思いました。

消費委員　鈴木奈緒子

ブロック活動ファイル

＊ QR コードで各ブロックの Facebook へ！

柏ブロック

○いろどり○縁日

8 月 10 日、デポー松葉町にて○いろどり○縁日を開催しました。
天候にも恵まれ、小さなお子さんから大人まで 50 人が参加しました。

浴衣や甚平姿で来てくれたお子さんには、お菓子の詰め合わせのプレゼントを用意していましたが 35 個全てなくなり、綿あめやヨーヨーつり、500 円分のお買いものレシートでできる輪投げも好評でした。大人も子どもも必死になって景品を狙う姿は縁日ならでは。

また、添加物でジュースをつくる実験では、大人以上に子どもたちがとても真剣に聞いていたのが印象的でした。できあがったジュースを飲んでみて、「知ってる！」「うんうん、これこれ」と味を確かめる参加者。果汁など一切使わず添加物の正体を理解しながら簡単にできてしまうジュースに驚きを隠せないようすでした。

多くの市販品のジュースの甘みは砂糖ではないこと、また着色がされていて自然の色ではないこと、そしてそれらは体へ悪影響があるということ。普段意識しなければ分からないことをこの実験を通して参加した皆さんに伝えられたと思います。親子で一緒に楽しく「食」を学べる機会をこれからもつくっていきたいと思います。

運営委員　吉田香保里

松戸ブロック

ワークショップまつり

8 月 29 日、センター松戸に 6 つのコミュニティが集まり、ワークショップまつりを開催しました。夏休み中でお子さんの参加も多く、総勢 37 人で賑わいました。

内容は、アルバム・カードづくり、パステルアート、ステンドグラス、ポーセラーツ、クッキーづくり、こねこねせっけんです。どのコミュニティも準備万端で、対応なども手際よく、日頃の活動が生かされていると感じました。

その他、お茶やお菓子の試食コーナーを設置し、40 周年記念の虹いろフェスタで作成したコミュニティの紹介ポスターも掲示しました。

出店参加者は、合間を見て体験し合うなど交流を深めました。体験参加者も、みんな真剣に夢中になって作品づくりを楽しんでいました。一日でいろいろな体験ができ、とても喜んでもらえたようです。お子さんの夏休みの宿題にと持ち帰った方もいました。また、お子さんの要望から当初企画になかったヨーグルトカップ工作なども始まり、出店側と体験側が一体となって会場が盛り上がりました。組合員の友人で参加した員外さんも、生活クラブの仲間のように安心して参加できたようです。

大きなトラブルもなく、コミュニティを通じて多くの方が組合員活動に楽しく参加することができました。

運営委員　中谷麻姫子

ベイブロック

親子でバスボムづくり

片栗粉・重曹・クエン酸（1:2:1）で入浴剤ができる！

8 月 7 日、船橋中央公民館にて、環境フォーラム主催の夏休み親子企画「バスボムづくりとせっけん使いこなし塾」を開催しました。当日キャンセルもなく、大人 15 人子ども 16 人が参加。子どもたちは少し緊張の面持ちで始まりました。

大人向けにステンレス鍋や陶器の煮洗いをすると、ブクブク泡立ってくると子どもたちもちょっと気になるようす。煮洗いをしている間に、いろいろな消費材を利用しているメンバーの実践的な話しや消費材の特徴についての説明などに、参加者は熱心に耳を傾け、次々に質問が出ました。次にせっけんの街から借りた紙芝居を使い、毎日の暮らしのなかで水の使い過ぎを減らす工夫や、せっけんと合成洗剤の違いを学びせっけんの良さを再認識しました。

お楽しみのバスボムづくり。たった３種の消費材でできます。市販の入浴剤の原材料もチェックしました。大さじを使って真剣にボールを形づくっている子どもたちの一生懸命な姿がとても素敵でした。お昼を食べる頃にはすっかり仲良しになっていました。

この企画を通じて、私自身改めてせっけんのこと、毎日の洗濯物の量や汚れ具合を見て配合を変えることを知り、排水を汚さない環境にやさしい暮らし方を考えるきっかけになりました。

運営委員　下江稚恵

ブロック活動ファイル

千葉ブロック

みつわ台アニバーサリーフェスタ

8 月 25・26 日、デポーみつわ台で、リニューアル 11th アニバーサリーフェスタを開催しました。2 日間とも生産者との交流会や空クジなしのお楽しみ抽選会で盛り上がりました！

25 日は、丸大豆醤油の生産者タイヘイ（株）の坂本江里さんが来所。以前から気になっていた、万能つゆと濃縮つゆとそばつゆの違いについて聞くことができました。雑穀のベストアメニティ(株)のリッキー江田さんは、「雑穀をよく噛んで食べると体にも脳の活性化にも良いですよ」。

26 日は、干物の（有）奥和の奥村太郎さん。「海にも番地（住所）があって、どこでとれた魚かわかるようになっています」。発芽はとむぎ茶の(有)高千穂漢方研究所の大内茂子さんは、「ハトムギや玄麦などを発芽させて弱火で炒ることで、より有効成分が出やすくなっています」。

デポーの外では、JFSA の素敵な古着市、子ども縁日のヨーヨー釣りや自分でつくる綿あめコーナーもあり、賑わいました。

魚や生産者おすすめの試食などそれぞれにおいしく、勉強になる 2 日間でした。

運営委員　坂上桃子

佐倉ブロック

せっけんを知ろう！作ろう！

8 月 21 日、志津公民館（佐倉市）で夏休み親子企画「せっけんを知ろう！作ろう！」を環境フォーラムが開催。園児から小学生まで子ども 11 人を含む 23 人が参加しました。講師はフォーラムメンバーの「印西水と暮らしを守る会」の竹内順子さん。

参加者は熱心に説明を聞き、DVD を見て、講師の問いに積極的に答えていました。ソースがついたままの皿と、拭いた皿を水に入れると水の汚れの違いにびっくり！

「マヨネーズ 20ml(スプーン 1 杯分) をきれいにするために、浴槽 17.3 杯分の水が必要です」と竹内さん。

せっけんづくりは、廃食油・水・苛性ソーダの入ったペットボトルを休みなく 5 分間振り続けます。「疲れる～」と盛り上がりつつ、大人の手を借りながら、手づくりせっけんが 3 本できました！できたてはアルカリが強いので、3 週間熟成させるとマイルドに。

最後に企画の感想を話し合いながら、簡単炊き込みご飯のおにぎりを食べてみんなすっかり仲良しになりました。

小さなうちから、自分の使う水はどこから来て、どう使い、流したらいいのか、知ることは大切ですね。小さくても理解する力を持っています。今後も長期休みの企画には、子どもが参加できる新発見の場をつくっていきたいと思います。

運営委員　川口絵未

市原ブロック

夏休み 竹林で流しそうめん

千葉県のおへそ、長柄町の竹林で、8 月 6 日に流しそうめんをしました。ＮＰＯ法人竹もりの里さんのご協力のもと、子育てサロンの企画に 50 人が参加しました。

まずは、竹を割ってスライダーづくりから。伐倒したての竹は水分も多く重いのですが、子どもたちも一生懸命手伝ってくれました。スライダーになる竹は、ハンマーで節を抜きます。器も竹で。のこぎりを使って自分の分は自分でつくります。なかにはマイ箸もつくっている子も。そして、日頃、引きこもりがちだったという子も、この日は楽しめたという報告も。

暑いなか、スタッフも大変でしたが、皆でそうめんをおいしく食べることができ、夏休みの楽しい思い出の 1 コマとなりました。

運営委員　立野真樹子

生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連９団体の総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

2017 年４月に開所した事業所を紹介します

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル４階
tel：043-309-5811　fax：043-460-8844
http://www.kazenomura.jp/
e-mail: info@kazenomura.jp

職員親睦会：八街

定期巡回ステーション八街　24 時間 365 日を支えるサービス

定期巡回ステーション八街は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を行う事業所です。要介護高齢者の在宅生活を４つのサービスで支えます。

①定期巡回　ヘルパーが自宅を訪問（20 分未満）して介助（ケア）や掃除などを提供
②随時対応　オペレーターが 24 時間 365 日体制で相談の対応やヘルパーの派遣手配
③随時訪問　オペレーターから指示を受けたヘルパーが自宅を訪問してサービスを提供
④訪問看護　看護師が自宅を訪問し、健康状態の把握や服薬管理などを提供

定期巡回ステーション八街の職員は、併設の訪問介護事業所とも兼務しており、相互に連携してケアを提供しているところが特徴です。スマケアシステム（スマートフォンを使って利用者の過去のサービス実施記録等が確認できるシステム）を使用しており、職員は移動中でも訪問先の利用者の記録を確認できるので、スムーズなケアが行えます。

職員は、老いも若きもピンクのポロシャツを着て毎日ケアに出かけています。初めてターミナルケア（人生の終末期の看取り）を体験した職員もいます。最後まで家で暮らすことを実現できる定期巡回は素晴らしいサービスです。

風の村八街は、定期巡回ステーションをはじめ、特別養護老人ホームやデイサービス、ケアプランセンター、保育園を併設している大きな複合施設で、ここで働けることが楽しいです。みなさんも、ぜひ八街の定期巡回ステーションで働きませんか？

お問合せ：生活クラブ風の村定期巡回ステーション八街
八街市東吉田 912-8　tel：043-443-8159 責任者 大川

「身近な」相談窓口　千葉市あんしんケアセンター小仲台

生活クラブ風の村の新しい仲間として開始してから半年がたちました。

千葉市あんしんケアセンター小仲台は、介護保険法に定められている地域包括支援センターのことで、千葉市では親しみやすさを込めて「あんしんケアセンター」と名付けられています。高齢者に関する悩みや相談に対応しており、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を行っています。

「介護保険はどうしたら使えるの？」「覚えのない請求書が届いた」「体操はどこで何をやっているの？」等々。同じような相談、悩みに思えても実に十人十色です。ご利用者の話をよく聞き、ご本人・ご家族の持っている力、困っていることなどをしっかりと捉えながら、少しでも望む生活が送れるよう支援しています。時には、地域の課題や悩みについて、地域住民の方や関係機関と共に考えることもあります。地域の課題は、地道な関わりを通して、それぞれの地域の歴史、考え方などを知り、そこに住む人たちと信頼関係を築くなかでようやく見えてきたものもあります。

今後も地域の皆さまとの信頼関係を大切にし、名実共に「身近な」相談窓口であり続けられるよう尽力してまいります。

千葉市あんしんケアセンター小仲台　保健師　菊池奈々美

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

ＮＰＯクラブ　秋の企画に参加しませんか

市民のチカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる。

【住所】千葉市美浜区真砂 5-21-12
tel：043-303-1688　fax：043-303-1689
http://npoclub.com/
e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp

（認定 NPO）ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

福島応援 day
福島から避難された方を講師に　ものづくりや料理で交流

ポーセリンアート作り

白磁に専用シールを貼って焼き上げる、世界に一つだけの食器やアクセサリー。
（講師：半谷さん）

日時：10 月 23 日（月）11：00 ～ 14：00
参加費：300 円（軽食付き）
材料費：800 円～
定員：20 人

福島のごはん作り

手作り餃子と手作り甘酒で盛り上がろう。
季節の献立（デザート付）は、当日のお楽しみ。　（講師：亀田さん）

日時：10 月 30 日（月）11：00 ～ 14：00
材料費：1,000 円　**定員**：10 人

共　通

会場：福島県県外避難者相談センター
千葉市花見川区検見川町 3-159-2
おおなみこなみ内

tel：080-5418-7286
対象：避難者と地域の方
申込締切：開催日の 1 週間前
（定員になり次第締切）

ユニバーサル農業視察会

視察先：恋する豚研究所（社会福祉法人福祉楽団　栗源協働支援センター）豚肉、ハム、ソーセージ製造・販売、農林業で地域活性化「薪プロジェクト」
日時：11 月 16 日（木）
10：30 ～ 13：30
集合：現地 / 香取市沢 2459-1
tel：0478-70-5234
参加費：1,000 円
（豚しゃぶ定食 1,280 円別途）
対象：ユニバーサル農業に関心のある方、福祉施設など
定員：20 人（申し込み先着順）
申込：ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会事務局
tel：043-270-5601
e-mail：souzounet@coast.ocn.ne.jp
https://www.facebook.com/nougyoufesuta/

VAIC-CCI　今年も　喫茶アルルカン「あるる市」開催！

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7
tel：043-290-8015　fax：043-290-8016
http://www.vaic-cci.jp/
e-mail: info@vaic-cci.jp

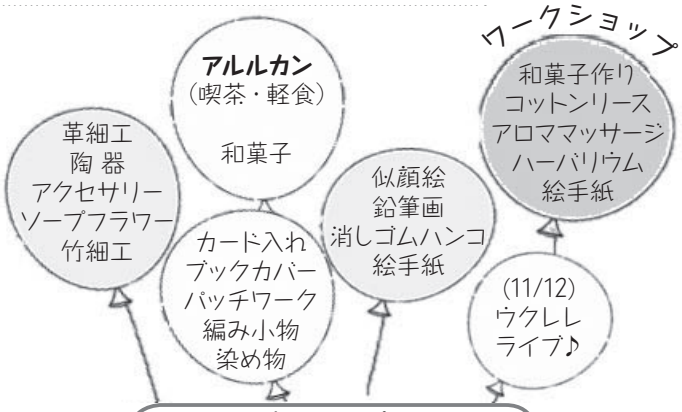
（認定 NPO）ＶＡＩＣコミュニティケア研究所

私たちは、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。私たちは、一人ひとりの暮らしを大切にしています。

喫茶アルルカン（八街市）　秋の恒例イベント「あるる市」にお越しください！

手作り品の展示販売やワークショップを通して
文化の発信を行い、来た人同士が交流して
元気になる企画。
今年で 7 年目になります。

みなさんのお越しを
お待ちしています！



お問合せ　tel：043-440-0181（担当：冨永）
八街市東吉田 8-1 風のロッジ内 八街センター

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

アーシアン

ＪＶＣ国際カレンダー発売中！

毎日の暮らしに、フェアトレードを。

【事業本部】千葉市美浜区真砂 5-21-12 1Ｆ
開所時間　13：00 ～ 16：00（水・土・日・祝日休み）
tel & fax：043-279-8665
http://www.jca.apc.org/earthian
e-mail: earthian93@jca.apc.org　（NPO）地球市民交流基金ＥＡＲＴＨＩＡＮ

生活クラブ
秋のセンター展示会

10/ 7，8 市原　/14,15 千葉
/21,22 松戸 /28,29 ベイ
11/ 4，5 柏　/11,12 佐倉
＊今回は、お買い上げいただいた方にもれなくアレッポ石鹸のサンプルをプレゼント。ご来場をお待ちしています。

2018 年のカレンダーのタイトルは
“Have a nice day!　～あなたの一日、地球の一日”

暮らしをテーマに、写真家 長倉洋海さんが世界各地の人々の日常の一コマを写真におさめました。

アーシアンでは収益金をＪＶＣ（日本国際ボランティアセンター）のラオスの森林保全のプロジェクトに支援します。ご協力よろしくお願いいたします。

壁掛け用：1,600 円
（サイズ　使用時 56cm × 38.5cm）

卓上用：1,300 円
（サイズ　17.8cm × 16cm × 7.5 奥行き cm）

＊お買い求めは千葉事務所、アーシアンショップ柏、センター展示会、千葉カタログ（10・12 月取り組み）。

スタッフ募集

アーシアンで一緒に活動しませんか！

・事務局スタッフ
・販売スタッフ　アーシアンショップ柏
　アーシアンちば

はぐくみの杜を支える会

皆さまへのお願い

すべての子どもの笑顔のために。

【住所】君津市糠田 64 番地
tel & fax：0439-32-2270
http://hagukuminomoriwosasaerukai.jimdo.com/
e-mail: hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp　（NPO）はぐくみの杜を支える会

◇ボランティアさん、募集中！

児童養護施設はぐくみの杜君津には、親と暮らせない 3 ～ 18 歳の子どもたち 40 人が 6 つのホームで暮らしています。

家庭に近い環境での暮らしをめざしているため、若い職員がホームごとに毎日の献立を考えたり、子どもの養育を頑張っています。

職員の負担を減らして子どもに関わってもらえる時間ができるようにボランティアさんが、食事づくり（月 2 回）、環境整備（草取り等随時）、遊びなど、他の活動や介護などで忙しいなか頑張って支援してくれていますが、手薄になることもあります。

お問い合わせ後、一度施設においでいただき、施設長やはぐくみの杜を支える会からの説明を聞いていただき、その後、登録・活動となります。

◇はばたき基金へのご協力

18 歳で施設から社会に巣立つ若者は、親の支援を受けられないため、進学・就職どちらを選択しても必要となるスタート時のまとまった資金を、アルバイトなどをしながら準備しています。

はぐくみの杜を支える会では、会員の皆さまからの会費や、はばたき基金への寄付金のなかから自立のための支援をしています。

今年は高校 3 年生 2 人のうち、1 人は進学、1 人は就職を希望しています。2 人が自分の目標に向かってはばたけるよう、今年度もはばたき基金への寄付をお願いできたらと思います。昨年度も 100 万円を超える寄付をいただき、T 君が専門学校に進学する際の支援に使わせていただきました。

公的な支援が不十分なので、その充実も求めていきたいと思います。

JFSA からのお知らせ

JFSA

古着や毛布がスラムの学校の自立運営を支えます。

【事務局】千葉市中央区都町 3-14-10　〒260-0001
tel & fax：043-234-1206（9：00 ～ 19：30 木曜定休）
http://www.jfsa.jpn.org/
e-mail: jfsa@f3.dion.ne.jp　　(NPO) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会

JFSA 古着ショップ

10：30 ～ 19：00　（木曜定休）

JFSA に届いた衣類の 2 割を販売しています。
リユース活動に、買うことでもご協力ください。
＊駐車場あります。

千葉店　千葉市中央区都町 3-14-10
tel：043-234-1206
柏　店　kapre（カプレ）　柏市大室 176- 1
tel：04-7110-0984

ご協力ありがとうございました。

5 ～ 8 月末までの間に、のべ 2,309 人の方から
11.391 トンの古着や毛布が集まりました。

古着の行く先で学ぶ子どもたちと アル・カイールアカデミー

アル・カイールアカデミーはカラチ市内に本校を 1 校と分校を 7 校、カレッジ 1 校があり、4,000 人以上の子どもたちが学んでいます。ムザヒル校長が学校を始めてから 30 年が経ちました。学校の卒業生のなかには、大学に進学している生徒もいます。その生徒の一人シャヒッドさんは、開校当時の生徒でした。彼は、家計が厳しかったため、1 度退学しましたが、32 歳の時に 5 年生から再度入学しました。

在学中にインタビューをした時、「学校は自分にとって家です。もし学校で何か困ったことがあったら、助けます」と言っていました。

彼は今、4 年制の大学で数学物理を専攻しています。ムザヒル校長が「彼は大学に行って、人生が変わったと言っています。卒業後は、アル・カイールアカデミーのカレッジの先生になって学校のために働きたい。後輩を応援したいと言っています」。

現在、アル・カイールアカデミーには 160 人の先生がいて、39 人が卒業生です。子どもたちの厳しい暮らしを知っている先生がそばにいることは、力強い存在になります。シャヒッドさんが先生になることは、スラムで学ぶ子どもたちにとって大きな「助け」になることでしょう。

授業中のカレッジ

回収のお知らせ

古着や毛布・衣類・バッグなどを回収します
回収品目は期間ごとに異なります。ご注意ください。

★デポー回収（デポー浦安除く）
11 月 30 日（木）～ 12 月 3 日（日）
詳細はデポーのちらしをご覧ください。

★配達便での回収　1 週に付き 1 袋まで
1 月 8 日（月）～ 19 日（金）
詳細は 12 月 18 日週配布のちらしをご覧ください。

★ JFSA（千葉・東葛）への送付
10 月 20 日（金）～ 11 月 22 日（水）着
期間内の日曜 13：00 ～ 17：00 は持ち込みも可

回収品目について
・すべての品目は、他のどなたかが再び利用します。
　シミ・汚れのないものをお願いします。

古着などがアル・カイールアカデミーを支えるまで…

少しでも役に立てばという想いから JFSA の活動は始まります

センターで 250 種に選別

約 20％
国内販売

古着ショップやフリーマーケットで。利益は JFSA の活動を支える資金に。

約 80％
パキスタンへ

卸販売。利益が学校の運営資金（先生の給料や教材費など）に。

JFSA は会員を募集しています（2017 年度 /17 年 10 月～ 18 年 9 月）

私たちと一緒にスラムに暮らす子どもたちの自立を支える JFSA の活動にご参加ください。どうぞよろしくお願いいたします。
会員・支援メンバーの皆さんには年 3 回会報・回収案内と、年 1 回サポーターグッズをお送りします。

郵便振替口座番号：00160-7-444198　加入者名：JFSA
正会員：年会費　5,000 円 / 1 口
支援メンバー（賛助会員）：年会費　2,000 円 / 1 口

イベント・情報

終活フェア
今から考えるプラチナ世代への準備

11 月 4 日（土）10：00 ～ 15：00
会場：ホテルメイプルイン幕張
幕張本郷駅徒歩 3 分
千葉市花見川区花見川区 幕張本郷1

①プラチナ世代の準備講座：ライフプラン講座（エンディング）・断捨利講座
午前 10：15 ～ 11：45
午後 13：15 ～ 14：45
ライフプラン 60 分
断捨利 30 分
②プロカメラマンによる遺影撮影
10,000 円 /A4・1 枚 +CDR（複数枚）
担当：福祉・たすけあい事業部
染谷　043-278-7768
＊詳しくは 9/25 ～配布のちらしをご覧ください。

GM 連続講座 ①遺伝子組み換え（GM）ってなぁに？
健康への影響があるってホント？

講演（天笠啓祐さん）、自生 GM ナタネ調査報告、生活クラブの取り組みなど。
詳しくは 10/2 ～配布のちらしをご覧ください。
11 月 10 日（金）10：00 ～ 12：10
会場：茜浜ホール（習志野市茜浜 2-7-2）
託児：あり
担当：組織部　茂野　043-278-7172

ブロック企画

ぷくぷく　秋のつどい
10 月 16 日（月）10：00 ～ 14：00
手作り工房ＳＡＭ
定員 10 人　参加費 100 円
担当：塚本　0436-60-1583

美味しいコーヒーの淹れ方講座
10 月 21 日（土）10：00 ～ 12：30
センター松戸
託児あり　定員 10 人　参加費 100 円
担当：鈴木　047-385-4646

オレンジカフェ流山
10 月 22 日（日）13：30 ～ 15：00
生活クラブ風の村流山 地域交流スペース
参加費 100 円
担当：児玉　04-7134-3801

消費材を使って秋の食卓
10 月 24 日（火）10：00 ～ 13：00
アミュゼ柏 3 階調理実習室
託児あり　参加費 300 円（員外 500 円）
担当：児玉　04-7134-3801

正絹糸でくみひも
10 月 25 日（水）10：00 ～ 12：00
デポー大津ヶ丘 和室
参加費 300 円（員外 500 円）
担当：児玉　04-7134-3801

中華風の昼食を！
10 月 25 日（水）11：30 ～ 13：00
南柏スカイハイツ集会室
参加費 300 円（員外 500 円）
担当：児玉　04-7134-3801

バスボムでぬくぬく＆秋の香りのアロマスプレー作り～秋のつどい～
10 月 30 日（月）10：30 ～ 12：30
デポー園生 地域活動スペース 虹
託児あり　定員 15 人　参加費 500 円
担当：清松　043-278-7629

美味しいランチを食べて ディナーも作っちゃおう！
10 月 31 日（火）10：00 ～ 14：00
デポー松葉町　組合員室
参加費 1,500 円
（ランチ 500 円、ディナー 1,000 円）
担当：児玉　04-7134-3801

やってみよう！気功整体
10 月 31 日（火）10：00 ～ 12：00
生活クラブ風の村流山 地域交流スペース
託児あり　参加費 500 円
担当：児玉　04-7134-3801

子育てサロン
11 月 9 日（木）10：30 ～ 12：30
デポー浦安室 地域交流室
担当：早川　047-379-1540

牛肉学習会
11 月 17 日（金）10：30 ～ 13：00
西部公民館（船橋市）託児あり
担当：早川　047-379-1540

千葉市里親制度推進シンポジウム ～里子たちの声に耳を傾けて…

10 月 29 日（日）13：30 ～ 16：00
会場：きぼーる 3 階子ども交流館
託児：あり（託児締切 10/16）
参加費：無料

2017 ちばこどもおうえん広場＆オレンジリボンキャンペーン

11 月 3 日（金・祝）10：00 ～ 16：00
会場：きぼーる 1 階
参加費：無料
問合わせ・申し込み
ちばこどもおうえんだん
担当：久保　043-205-4046

（NPO）ちばこどもおうえんだんは、千葉市の里親制度推進事業業務委託団体として選定され、里親制度の普及啓発活動を行っています。生活クラブ虹の街はこの活動に賛同。子どもたちの未来について一緒に考え、地域の皆さんとの緩やかなネットワークづくりにご支援ください。

エネルギー学習会　今さら聞けない！電気のしくみ

エネルギーカフェ

日時	ブロック	場所
10/12（木）	市原	センター市原
10/13（金）	ベイ	デポー浦安
10/22（日）	松戸	センター松戸
10/26（木）	千葉	デポー真砂
11/7（火）	柏	デポーおおたかの森

2016 年 6 月から生活クラブ電気の共同購入が始まりました。生活クラブ電気への切り替えを検討中の方、再生可能エネルギーについて詳しく知りたい方、基礎的なところから学びたい方もどうぞご参加ください。
詳細は、各ブロックへの機関紙をご覧ください。
問合わせは各ブロックのセンターへ。

こんにちは！赤ちゃん♪ せっけんプレゼント

せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

お誕生おめでとう！

小川 遼士（りょうじ）くん	2017.01
佐藤　圭（けい）くん	2017.05
竹中 一朗（いちろう）くん	2017.05

申請書は 15 ページに

＊イベント等の詳細は、各企画の担当まで。各ブロックのセンター・デポーへの問い合わせ（電話番号）は表紙下にあります。

夢風ニュース＆申込書

生活クラブ風車
夢風News
発行　一般社団法人グリーンファンド秋田

生活クラブ風車「夢風」5 周年

7 月 29･30 日、生活クラブ風車「夢風」5 周年記念イベントを行いました。29 日には、にかほ市と生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉、グリーンファンド秋田との連携推進協議会の主催で生活クラブ風車「夢風」建設 5 周年を祝う会を生活クラブ風車サイトで行いました。にかほ市長をはじめ、来賓や、夢風ブランド開発生産者連絡会、芹田自治会の方々、生活クラブ組合員など、170 人が参加しました。

オープニングは、にかほ市平沢小学校の太鼓クラブの演奏。主催者として生活クラブ東京の土谷理事長の挨拶。横山にかほ市長、荒川芹田自治会会長、新田（株）平田牧場代表取締役よりご挨拶。会場では夢風ブランド開発生産者連絡会の各生産者の試食が提供され、にかほ市の食べ物に舌鼓を打ちながら、和やかに交流しました。市役所職員メンバーによる市役所バンドの演奏や、にかほ市出身のデュオのミニライブ、（NPO）北海道グリーンファンド理事長　鈴木亨さんの歌、最後に生活クラブの組合員が、「青いサンゴ礁」の替え歌で「白い WINDMILL」を合唱しました。

連携推進協議会 2017 年度総会

7 月 6 日、にかほ市と生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉、グリーンファンド秋田との連携推進協議会 2017 年度総会を、にかほ市役所象潟庁舎にて行いました。共同代表の半沢彰浩生活クラブ神奈川専務理事（グリーンファンド秋田代表理事）、須田正彦にかほ市副市長の挨拶。総会では、2016 年度の活動報告及び決算、2017 年度活動方針と予算を満場一致で決定。今年度は地域間連携を推進し、にかほ市における「（仮称）自然エネルギー導入による持続可能な地域づくりに関する条例」の制定を検討、小中学校教育での環境教育プログラムの実施をすすめます。

風車の発電実績

6 月の発電量…233,257kWh
7 月の発電量…170,227 kWh

＊夢風ニュース vol.61、vol.62 より抜粋。
全文は生活クラブ虹の街 HP で公開中です。

申込書・申請書

コルザ 10 月号

配達時または、デポーフロアに提出して下さい。

組合員氏名			組合員番号		申込締切
参加希望に○		11/4　終活フェア　①ライフプラン講座 午前・午後（どちらかに○）	同伴者（　　人）お名前	（家族・組合員・員外）	10/27
		11/4　終活フェア　②遺影撮影	同伴者（　　人）お名前	（家族・組合員・員外）	
		11/10　GM 連続講座①（健康への影響）	同伴者（　　人）お名前	（家族・組合員・員外）	10/27
託　児（ひらがなで）		なまえ /　　（男・女）　　才　　ヵ月　アレルギー（有・無）		＊ GM 連続講座のみ託児あり。	
		なまえ /　　（男・女）　　才　　ヵ月　アレルギー（有・無）			
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント　申請　（太枠の組合員氏名と番号を記入してください）					1 歳の誕生日の前日までに申請
赤ちゃんのなまえ		ふりがな	赤ちゃんの生年月	20　　年　　月生まれ	
		（男・女）			
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。　（はい・いいえ）					

＊せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。
　対象は組合員のお子さんで、1 歳未満の赤ちゃん。1 歳の誕生日の前日までに申請してください。
＊いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。
＊企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

本部宛　終活 / 福・た　染谷、GM① / 組織　茂野

事務局記入欄　センター / デポー（　　）、配達コース（　　）-（　　）

10 月のデポー

イベント案内

デポーおおたかの森
10 月 20 日オープン！
詳しくは5ページを
デポ活♪ おおたかの森

日	月	火	水	木	金	土
8 お休み（次月は 11/12）	9 ビオサポ（～15）	10	11	12 黒豚の日	13 北海道フェア	14
	北海道ウィーク（～15）					
	消費材紹介キャンペーン①（～10/15）					
15 冷凍品お買い得 2パック以上で 5%off	16 ビジョンフードの日	17	18 千葉県漁連ウィーク（～22）	19	20 ほうきね牛入荷	21
	消費材紹介キャンペーン②（～10/22）				まるごと栃木まつり	
22 日曜市	23 にかほフェア（～29）	24	25	26 平牧金華豚の日	27 ハロウィンフェア	28
			プレスオールターナティブウィーク（～29）			
	消費材紹介キャンペーン③（～10/29）					
29	30	31				

10 月の生まぐろ解体　＊水揚げがない場合は冷凍まぐろが入荷
10/14 木刈・/20 真砂・/21 大津ヶ丘 /27 松葉町・28/ 浦安

デポーのお休み
11 月は 12 日

消費材紹介キャンペーン①（10/9 ～ 15）　週替わりのおすすめ
信州田舎味噌こうじ 1kg・まぐろ油漬缶
ミックスチーズ …… 10%off

北海道ウィーク：みついし昆布　北海道チクレン（10/9 ～ 15）
北海道の生産者とその消費材をご紹介します。みついし昆布は昆布いろいろ、北海道チクレンはコンビーフやビーフカレーなど。

ビオサポ週間（10/9 ～ 15）毎月 1 回開催
消費材を使ったおすすめレシピを紹介。試食日はデポーで異なります。
10/9：みつわ台、大津ヶ丘　10/10：真砂、浦安
10/11：木刈、園生　10/12：新松戸　10/13：松葉町

北海道フェア（10/13.14）
北の大地：北海道から旬の野菜や海の幸、特産品各種入ります。
平牧三元豚・黒豚のバラ薄切りなど豚丼用のアイテム
みついしきざみ昆布・コンビーフ缶など …… 5%off

ビジョンフード牛乳の日（10/16）
10 月のテーマは「牛乳」。人気のノンホモ牛乳などをご紹介。

消費材紹介キャンペーン②（10/16 ～ 22）週替わり
ホットケーキミックス・おとうふ揚げ
信州トマトジュース食塩無添加 …… 10%off

千葉県漁連ウィーク（10/16 ～ 22）
千葉県漁連の人気のお魚加工品（海苔・冷凍惣菜など）をご紹介。手軽でおいしいおすすめ品がいっぱい！

まるごと栃木まつり（10/20・21）
デポーの食料基地：栃木のことが丸ごとわかるフェア。ほうきね牛が入荷。ノンホモ牛乳など、パスチャライズド牛乳各種や、 新生酪農バターなどをご紹介。栃木開拓農協の高原野菜もおすすめ。

消費材紹介キャンペーン③（10/23 ～ 29）週替わり
国産ブレンドなたね油丸缶・焼売 …… 10%off

プレスオールターナティブウィーク（10/23 ～ 29）
ドライフルーツやナッツ類、有機チョコレートなどをご紹介。

にかほフェア（10/23 ～ 29）
生活クラブ風車のまち：秋田県にかほ市の特産品が入荷。
期間中、人気の「鱈しょっつる」などの生産者が来所。
10/27　12：00 ～浦安・16：00 ～真砂
10/28　10：30 ～園生・13：30 ～みつわ台

ハロウィンフェア（10/27・28）10 月 31 日はハロウィン
ハロウィンのお祝い用に、
鶏肉モモ・ムネ肉・かぼちゃボーロ・かぼちゃアイス
プレスオールターナティブのおすすめ有機チョコなど …… 5%off

おでん種
バラ入荷
（原則毎週火曜日）
こめや食品のおでん種が1個から購入できます。好きなものを組み合わせてご利用ください。10～3月限定企画。

日曜市（10/22）
・ジュース類は特別箱値引き
　通常の箱値引きよりさらにお得
・日曜青果市で季節の野菜果物もお得！
レシピ提案：おいしいタコライス
牛豚あいびき
ウスターソース …… 5%off

冬のギフト予約受付開始（10 月中旬より）
冬のご挨拶も生活クラブの消費材で。試食や見本展示もあります。
デポー組合員の〆切＝全国宅配品：11/4（土）　組合員受取品：11/7（火）

メールマガジン
あなたの携帯にデポーの情報が届きます
登録受付中

デポー真砂　デポーみつわ台　デポー園生　デポー浦安
デポー新松戸　デポー大津ヶ丘　デポー松葉町　デポー木刈　デポーおおたかの森

ポイント実施中！ デポーカードの提示でポイントがつきます。500 ポイントで 500 円のクーポン券発行。カードは班・個別配送の方もつくれます。

＊ 2017 年 9 月 5 日作成　イベントや入荷予定、試食の内容などは変更になることもあります。